

働くことの大切さを学ぶ

県北中学校2年生が2日間の職場体験を行いました

先日職場体験をした生徒5名に、働くことに対する思いや考えを聞きました。
職場体験を経験し、自分たちの将来に対する思いがどのように変化したのでしょうか。

県北中学校の2年生60名が、7月7日から8日の2日間、町内外の12事業所で職場体験を行いました。生徒たちは、飲食店から官公庁、農業や病院などさまざまな分野の仕事を体験。その分野のプロフェッショナルと仕事を共にすることで、仕事に必要な知識や技術、仕事に向き合う姿勢や働くことの厳しさなどを学びました。教室では学ぶことのできない、職場の雰囲気やそこで働く人たちの思いなどを肌で感じる貴重な機会となりました。大人たちから、「しっかりと勉強をして知識と技術を身に付けることが必要」「継続して鍛錬することが大事」と言われ、自分たちができるかどうか不安な表情をする生徒たち。しかし、2日間の職場体験を終えた生徒たちの顔には、将来に対する不安や心配も浮かびますが、それを乗り越え夢を叶えようとする、強い意志を感じることができました。



公立藤田総合病院
大槻 夕依 さん

相手に寄り添う心の大切さを学びました

私の将来の夢は養護教諭になることです。今回の職場体験では、自分の夢の実現に役立つことを学びたいと思い、医療系の仕事を希望しました。看護師さんを含め、病院で仕事をされている人たちは、自分の仕事をこなすだけでなく、常に周囲に気配りをして、困っている人がいればすぐに声をかけていました。自分だったら同じような対応ができるかどうか心配になってしまいました。今回の体験では、患者さんの目線ではなく職員目線から仕事を見たり、実際に体験することができたので、とても勉強になりました。

今後は将来の夢に向かって、相手を大切に寄り添う心を持つことを心掛けて生活していきたいと思います。



伊達地方消防組合 中央消防署西分署
宇野 羅沙佑 さん

困っている人を助ける職業に就きたい

消防士のように人を助ける職業に憧れを持っているので、普段はどんな仕事をしているのか知りたいと思い希望しました。実際に2日間体験してみると、消防士の皆さんには車両点検や事務作業など、訓練以外にもたくさんの業務があることを知り、忙しい日常業務の合間に自分自身のトレーニングをしていることに驚きました。

呼吸器を背負っての要救助者訓練や放水訓練など、貴重な体験をすることができました。中でも、心臓マッサージの訓練では、ひとつひとつの手順を詳しく学ぶことができたので、これまでのぼんやりとした知識ではなく、きちんとした知識を身に付けることができたと思います。



くのみ農業ビジネス訓練所
後藤 慧伍 さん

もっと詳しく農業のことを学びたい

もともと農業に興味があったことと、会津にある母の実家が農業を営んでいて、将来はそこで農業を手伝いたいと思っているので、今回の体験を希望しました。2日間で体験したことは全て楽しかったのですが、印象に残ったのは収穫した野菜の袋詰め作業です。野菜を大きさや重さで分け、傷がつかないように袋詰め作業を行いました。難しかったことは、ミニトマトの収穫後の剪定作業です。剪定が必要な枝をなかなか見つけることができず、指導員の方に手伝ってもらいました。

2日間の職業体験はとても短く感じられました。もっとたくさんの体験をしたかったです。今後は自分の夢の実現のため、農業のことを詳しく学びたいと思います。



1_ 血圧測定を体験 2_ 真剣に心臓マッサージを学ぶ 3_ 消費期限をしっかりと確認 4_ 収穫した野菜を袋詰め 5_ 重い呼吸器を装着 6_ 緊張しながらの接客 7_ 収穫後の枝を剪定 8_ 商品を丁寧に陳列

お客様の「ありがとう」にやりがいを感じました

新しくできた「道の駅くにみあつかしの郷」の中の様子や、従業員の方の働く姿を見たいと思い、体験を希望しました。実際に体験してみると、働くことはとても大変でした。ですが、体験したことの全てが楽しく、中でもレジ打ちの作業が一番印象に残っています。お客様とのやり取りの中で、「ありがとう」と笑顔で声をかけてもらったことが、本当に嬉しくてやりがいを感じました。体験したこと全てが初めての経験だったので、簡単ではありませんでした。特に野菜の梱包は、大切な商品にキズを付けないよう、ひとつひとつ大切に、同じ形になるように仕上げるのがとても難しかったです。

社会人になったら、どんな職業に就いたとしても、仕事のひとつひとつを丁寧にこなし、楽しみながらできるようになりたいと思います。



道の駅国見あつかしの郷
佐藤 優真 さん

頼りにされることが嬉しかったです

いつもはお客さんとして利用していますが、従業員という立場から仕事を体験し、自分自身が接客業にむいているのかどうかチャレンジしたいと思いました。注文を取るときに上手く話ができなかったり、混雑している時にコップ洗いが追い付かなかったり、大変なこともありましたが、色々な体験をするなかで、お店の方に何度も頼ってもらえたことがとても嬉しかったです。食器を洗ったり、料理を運んだり、母が毎日してくれていることがとても大変なんだと実感できました。今後は母に頼ってばかりではなく、自分でも家事の手伝いをしたいと思いました。

2日間という短い時間でしたが、接客の仕方やお客様に対する態度などを学ぶことができた貴重な体験になりました。



あぶくまレストラン
近野 結花 さん